



“きさらぎ”

2月になりました。冬もいよいよ終盤となり、暖かな春までもう少し！…でも体感的な寒さは、この時期が一番骨身にしみるような気がします……。（※個人的な感想です）

さて、2月には「如月（きさらぎ）」という呼び方があります。ふとその由来が気になつたので調べてみました。1月を睦月（むつき）、3月を弥生（やよい）…などする呼び名のことを「和風月名（わふうげつめい）」といい、旧暦の季節や行事に合わせて使用されてきました。和風月名の由来については諸説あるようですが、如月の由来は【まだ寒さが厳しい時期に、更に衣を重ね着する月→「衣更着（きさらぎ）】という説が有力とされているそうです。

ということで（？）、当館のスタッフも少々着ぶくれてしまう如月ですが、温かい目で見守っていただければ幸いです。（M）



一般

『説明組み立て図鑑 あてはめるだけで“すぐ”伝わる』809 イ

犬塚 壮志／著 (SBクリエイティブ)

何かを説明するときに相手にしっかり伝わるかどうかは、話の「組み立て方」＝「説明力」が重要。あてはめて役立つ80の「型」で、説明上手になろう！



児童

『北条政子 鎌倉幕府を守りぬいた「尼将軍」』28ニ K

学研まんがNEW日本の伝記SERIES (学研プラス)

歴史の勉強などで一度は耳にする「尼将軍・北条政子」。大河ドラマ『鎌倉殿の13人』でも再注目される政子の一生を漫画や写真でわかりやすく学べます。



~スタッフコラム~



《 F 》

毎日の家事に疲れました。
ときめくことを何か考え
ながらやってみよう…と、
思います。

思い出は突然よみがえる。

うちの息子は『鬼滅の刃』が好きで、キャラクターの「富岡義勇」のマグカップを使っています。漢字で「義勇」と書かれているのですが、先日洗っている時に、「義男（ヨシオ）」と読んでしまいハッとなりました。思い出す人がいるからです。

10年ほど前、美味しくて行きつけのレストランがありました。シェフが1人で切盛りしていたのですが、私は「彼は料理の鉄人だな」と思って密かに「テツオ」と呼ぶことにしました。実家の母や妹たちに勧めたところ通うようになり、家族は密かに「ヨシオ」と呼ぶようになりました。顔の印象が優しそうでヨシオの方が似合っていたように思います。その後店を閉めることになり、その報告のハガキでシェフが「ノリオ」（漢字は忘れました）であることを知りました。しかし、そんなわけで「テツオ」や「ヨシオ」と聞けば、シェフと彼の料理を思い出すのです。コース料理も良かったけれど、ワンプレートのミルフィーユカツが本当に美味しかった！

今日も「富岡義勇」のマグカップを、テツオ・ヨシオ・ノリオとミルフィーユカツ、そしてその頃の出来事を思い出しながら洗っています。

スタッフからのオススメ本

『うさぎのさとうくん』 相野谷 由起／さく・え（小学館）



—さとうはねるくんはあるひ うさぎになりました。—

さとうくんのスローライフは、幻想的で美しい。きれいな景色に
ただみとれたり、美味しいものを好きなだけ食べたり…。
こんな生き方してみたい。

E ア

展示紹介

3月7日（月）～30日（水）まで（※こちらは2月に予定していた展示です）

『祝う・贈る・包む』

プレゼントやラッピングに関する本を特集し、
展示・貸出します。



『ふしぎな世界へいってみよう』

不思議、変わった世界へトリップしちゃう本や
絵本を展示・貸出します。



この特別号は本来「2月号」として発行されるはずだったものを、編集・抜粋して作成しました。